

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		地域情報管理事務事業						予算事業名		地域情報管理事務経費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				02	01	12	0502	経常経費							
総合計画体系		5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)						事業の区分		主要事業					
		5-3情報化社会に対応した行政体制づくり (市民生活・行政・情報													
		①行政サービスの充実						担当課係等		総務課					
5電子行政の推進						総務係									
事業期間		継続 (年度～令和 5年度)													
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか) 】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
情報通信基盤整備を促進し、市民の利便性向上と職員の事務効率化を図る。								業務を遂行するにあたり、I C Tの利活用は必須であり、行政職員や教員等の事務効率化や市民サービスの向上を図る。							
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか) 】								【対象 (だれに対して・何に対して行うのか) 】							
市の公共施設間を結ぶ地域イントラネットワーク及び職員用システムの整備・運用と、市民等へ電子申請・施設予約・地理情報等のサービスを提供するとともに、災害時の安全対策やセキュリティ対策を実施する。								市民及び行政職員、教職員、文化・スポーツ振興事業団職員							
【事業をとりまく環境の変化】								行政情報化の進展は目覚ましく、今後とも住民サービス向上や事務効率化のためのI C Tの利活用が求められている。							
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】							
地域イントラネットワーク及び職員用システムの安定稼働のための運用管理				地域イントラネットワーク及び職員用システムの安定稼働のための運用管理				地域イントラネットワーク及び職員用システムの安定稼働のための運用管理							
■事業費															
				R01年度		R02年度									
財源内訳	国	庫	支	出	金	0	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	25	25								
	一		般	財	源	101,461	74,460								
歳入計 (千 円)				101,486		74,485									
歳出内訳	節 (番 号 + 名 称)				金額 (千円)		金額 (千円)								
	10 需用費				30		100								
	11 役務費				11,256		9,888								
	12 委託料				46,870		31,339								
	13 使用料及び賃借料				33,565		26,104								
	14 工事請負費				0		281								
	18 負担金補助及び交付金				9,765		6,773								
歳出計 (千 円) (A)				101,486		74,485									
伸び率 (%)						-26.60									
備考	総合計画 1 4 1 ページ 予算書 4 9 ページ														

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	委託業者との定例会の開催	回	目標	12.00	10.00	12.00
	ネットワーク及びシステムの安定稼働のため、委託業者との定期的な会合を行う。		実績	12.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	ネットワーク及びシステムの安定稼働	年	目標	1.00	1.00	1.00
	年間を通じたネットワーク及びシステムの安定稼働		実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地域イントラネットワーク及び職員用システムの安定稼働のために必要な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	地域イントラネットワークは市が管理運用する必要がある、職員用システムについても同様である。
	手段の妥当性	A 妥当である	ネットワーク及びシステムの管理運用に係る手段は妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	保守委託の内容及び地域イントラネットワークの規模から考慮するに妥当である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	公共施設間のネットワーク維持に必要な事業であり、その影響は市民にも及ぶため受益者の偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	
進捗度	事業の進捗	A 順調である	ネットワーク及びシステムは安定稼働しており、順調に進捗している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
ネットワーク及びシステムは安定して稼働している。今後、GIGAスクール構想、テレワーク等業務のICT化の進展に伴い、さらなる通信量の増加、ネットワーク機器への負荷等について、委託業者と綿密な連携が必要となる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
負荷の軽減やトラフィックの監視など、安定的にネットワークが稼働できるよう委託業者との連携を綿密にし、必要とされる措置を講じていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 引続きネットワークが安定稼働するよう委託業者と連携していく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	